

今回の探検先は… 株式会社アイテム

関東・東海・近畿・九州地域での求人広告（本誌ジョブアイテムをはじめ、新聞折込・求人サイト）の発行を中心に人材に関わるサービスをグループで展開。

2007年より小学生を対象としてはじまった「アイテムしごと探検隊」では、参加してくれた子どもたちが延べ300名をこえました。

今回は、第20回を記念して初めて自社内で開催、17名の子どもたちが東京都新宿区にある本社に訪れました。

●探検実施日:2011年8月20日(土)

求人広告の役割って？

8月20日、小学生17名のしごと探検隊が訪れたのは、新宿にあるアイテム本社。子どもたちには馴染みのない存在の求人広告だが……。

「約1億2800万人いる日本の人口のうち、どれくらいの人が働いているのかな？」

広報室の望月社員から投げかけられた質問に、頭を悩ます子どもたち。

「正解は、約6257万人。半分くらいの方が働いています。世の中にあるお仕事の種類は？」



求人広告ができるまでを子どもたちが探検。

類は、約1万8000職種もあるんです」

予想以上の数に、驚きの声が上がります。そんな様々な仕事の中から、自分にぴったりの仕事を見つけるために求人広告が存在していることを知って、子どもたちも興味津々なまなざしに。

求人広告ができるまで。

求人広告が世に出るまでには、たくさんの方が携わっている。採用プレザンター(営業)、営業サポート(営業事務)、デザイナー(制作)。それぞれの社員が順番に説明に立つ。

最初は、採用プレザンター。企業への提案・取材をするのが仕事だ。

「一番大切にしているのは、お客様の話をよく聞くこと。どんな人が欲しいのかをよく聞いて、提案をします」

営業サポートは、原稿作成もこなす事務職。キャッチコピーや大まかなレイアウトを考え、原稿の下地をつくる。

「仕事は大変ですが、実際に掲載された原稿を見ると、すごくうれしいですね」



手書きの原稿の下地を元に、デザイナーはパソコンを使って原稿を制作していく。

「誰に見てほしいのか、何を伝えたいのかということを考えながらデザインします。これが正解というものがないのが、この仕事の難しさです」

3人の話にも、子どもたちはうなずきながらメモを取る。

キャッチコピーって、難しい。

「では、皆さんも求人広告をつくってみましょう」

望月社員の呼びかけに、背筋をピンと伸ばす子どもたち。まずは、パン屋、レストラン、保育士、看護師の中から好きな職種を選択。職種ごとに用意された原稿シートに印刷されているのは、給与や時間といった求人に関する文字データのみ。残されたスペースに、自由な発想で原稿の下地をつくるのだ。

「一覧表の中から自分のイメージに合う写真やイラストを選んで、どこに、どれくらい」



の大きさで入れるか指示を書き入れていく。はじめての求人広告づくりに、子どもたちは真剣な表情。特に難しいのは、キャッチコピーを考えること。思いつかなくて、鉛筆を持つ手を止めてしまう子どもも。

「自分だったら、どんなお店で働きたい？こんなパンを売っているよ、こんな店長がいるよ、こんな場所にお店があるよ、というふうに想像してみようか」

考え方のヒントをもらって、「そっか！」と早速ひらめいた様子。さあ、どんな原稿に仕上がるかな？

名刺は、その人そのもの。

次に体験したのは、名刺交換。自分の名前が印刷された名刺を受け取って興奮気味の子どもたちに、「アイテム人と仕事研究所」の大野講師が説明する。

「ビジネスマナーというのは、人と人が気持ちよく仕事をしていく上で必要なものです。名刺交換というのは、ただカードを渡し合うのではなく、挨拶をすることからはじまります。」



原稿制作の現場に潜入。

つづいて職場見学に向かったのは、大手企業の原稿を多数取り扱う営業部のオフィス。行ったことのある有名ショップやテーパーパークの求人広告を見て、「この店、知っている」「すごい」と歓声が上がる。

さらにオフィスを奥に進むと、たくさんのデザイナーたちがパソコンに向かって原稿を制作している真ん中。パソコンの画面に映っているのが、先ほど自分たちが考えた求人広告と違って、子どもたちは大はしゃぎ。

「もう少しでできるから、楽しみにしててね」



世界で一つだけの求人広告。

見学を終え、今日一日の探検を振り返る。

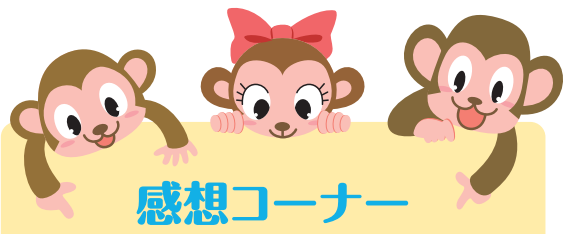
「求人広告ができるまでを見て、チームワークが大切だと分かりました」

「原稿をつくるのは難しかったけど、楽しかったです」

最後に子どもたちに手渡されたのは、一人ひとりが原稿の下地をつくり、デザイナーが仕上げた世界に一つだけの求人広告。想像をこえる出来栄えに、お互いの作品を見せ合う表情は、誰もがとてもうれしそう。この仕事の醍醐味であるイメージが形になる感動も、味わうことができたようだ。



*子どもたちが考えた求人広告



感想コーナー

- チームワークや協力が大切だということがわかった。
- 求人広告にとっても興味をもった。実さいに職場が知られてよかった。
- 求人広告がむずかしかったけど、楽しかった。
- 知っているお店が求人広告になっていて、びっくりした。
- 名刺交換のマナーがよくわかって、おもしろかった。



●「アイテムしごと探検隊」ご協力のお願い

訪問先としてご協力いただける企業・団体を募集しています。子どもたちが「仕事」について考える機会を一緒に提供していただけませんか？

お問い合わせは「アイテム広報室」まで ☎0120-938-989

※「アイテム 人と仕事研究所」では、人材育成のためのビジネスマナースクールや就活支援セミナーなどを開催しています。